

近畿大学医学部(推薦) 物理

2024年11月17日実施

I-A

解答

- 1 v 2 $\pi - 2\theta_A$ 3 $2mv \cos \theta_A$ 4 $\frac{1}{\sqrt{2}}$
 5 $L + R \cos \theta_A$ 6 $\frac{\sqrt{3}}{2}R$ 7 $\sqrt{3}(L + R)$

解説

- 1 反発係数 e は 1 に等しいので、衝突前後で小球の速さは変化しない。よって、 $|\vec{v}_A| = |\vec{v}| = v$
 2 入射角と反射角がともに θ_A となることから、 $\alpha = \pi - 2\theta_A$
 3 衝突前後の小球の運動量の変化より、小球が球から受ける力積の大きさは、 $2mv \cos \theta_A$
 4 $\alpha < \frac{\pi}{2}$ であれば衝突するので、[2]より、

$$\pi - 2\theta_A < \frac{\pi}{2} \iff \frac{\pi}{4} < \theta_A \implies \sin \frac{\pi}{4} < \sin \theta_A \iff \frac{1}{\sqrt{2}} < \frac{a}{R} \quad \therefore \frac{1}{\sqrt{2}} \times R < a$$

- 5 点 A と壁との距離を考えればよいから、 $L + R \cos \theta_A$
 6 $\alpha = \frac{\pi}{3}$ [rad] を [2] の結果に代入して、 $\theta_A = \frac{\pi}{3}$ [rad]。したがって、 $a = R \sin \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2}R$
 7 $\alpha = \frac{\pi}{3}$ [rad]、 $\theta_A = \frac{\pi}{3}$ [rad] より、

$$BC = R \sin \frac{\pi}{3} + \left(L + R \cos \frac{\pi}{3} \right) \tan \frac{\pi}{3} = \sqrt{3}(L + R)$$

I-B

解答

8 $\pi R^2 vn$

9 $\frac{1}{2} \pi R^2 vn$

10 $\frac{1}{4} \pi R^2 vn$

解説

8 単位時間あたりに球に衝突する小球の個数は、 $\pi R^2 \times v$ の円柱内の小球の数を考えればよいので、 $\pi R^2 vn$

9 4の結果より、 $\frac{\pi}{4} < \theta_A < \frac{\pi}{2}$ ，すなわち、 $\frac{1}{\sqrt{2}} R < a < R$ の範囲で球に衝突した小球が壁に到達するので、

$$\pi R^2 vn \Delta t \times \frac{\pi R^2 - \pi \left(\frac{R}{\sqrt{2}}\right)^2}{\pi R^2} = \frac{1}{2} \pi R^2 vn \times \Delta t$$

10 6の結果より、 $\frac{\pi}{3} < \theta_A < \frac{\pi}{2}$ ，すなわち、 $\frac{\sqrt{3}}{2} R < a < R$ の範囲で球に衝突した小球が半径 R_1 の壁上の円内に到達するので、

$$\pi R^2 vn \Delta t \times \frac{\pi R^2 - \pi \left(\frac{\sqrt{3}}{2} R\right)^2}{\pi R^2} = \frac{1}{4} \pi R^2 vn \times \Delta t$$

I-C

解答

- 11 $-\frac{GMm}{r}$
12 $\frac{1}{2}vr \sin \phi$
13 $\frac{1}{2}v_0b$
14 $\frac{4S^2}{GM}$
15 $\left(\frac{GM}{2S}\right)^2$
16 $\frac{1}{r_1}$
17 $\frac{\pi - \beta}{2}$
18 $4S$

解説

- 11 万有引力の位置エネルギーの式より, $-\frac{GMm}{r}$
12 点 P において, 物体と太陽を結ぶ線分が単位時間当たり通過する面積を考えて, $S = \frac{1}{2}r(v \sin \phi) = \frac{1}{2}vr \sin \phi$
13 $x \rightarrow -\infty$ において, 物体と太陽を結ぶ線分が単位時間当たり通過する面積を考えて, $S = \frac{1}{2}v_0b$
14 $V(r)$ の式で $u = \frac{1}{r}$ とおいて, $f(u) = 2mS^2u^2 - GMmu$ の最小値を考える.

$$f(u) = 2mS^2 \left(u - \frac{GM}{4S^2}\right)^2 - \frac{G^2M^2m}{8S^2}$$

より, $u = \frac{GM}{4S^2}$ で $f(u)$ は最小値をとる. このときの u を u_1 とすると, $r_1 = \frac{1}{u_1} = \frac{4S^2}{GM}$

- 15 $E = -\frac{GMm}{r} + 2m\left(\frac{S}{r}\right)^2 + \frac{1}{2}mv_r^2$ に, $r = r_1 = \frac{4S^2}{GM}$, $v_r = v_{r1}$ を代入して,

$$E = -GMm \frac{GM}{4S^2} + 2m \left(\frac{GM}{4S}\right)^2 + \frac{1}{2}mv_{r1}^2$$

$$\Leftrightarrow \frac{2E}{m} = -\frac{G^2M^2}{4S^2} + v_{r1}^2$$

よって, $v_{r1} = \sqrt{\frac{2E}{m} + \left(\frac{GM}{2S}\right)^2}$

- 16 問題の (4) 式より, $V(r_2) = 2mS^2 \left(\frac{1}{r_2} - \frac{1}{r_1}\right)^2 + V(r_1)$ である. これと $\frac{1}{2}mv_{r1}^2 + V(r_1) = V(r_2)$ より,

$$\frac{1}{2}mv_{r1}^2 = 2mS^2 \left(\frac{1}{r_2} - \frac{1}{r_1}\right)^2 \Leftrightarrow \left(\frac{v_{r1}}{2S}\right)^2 = \left(\frac{1}{r_2} - \frac{1}{r_1}\right)^2$$

よって, $u_2 = \frac{1}{r_1} + \frac{v_{r1}}{2S}$

- 17 問題で与えられた角度の定義より, $\theta_2 = \frac{\pi - \beta}{2}$

- 18 17 の結果と $\cos \theta_2 = \left(\frac{2S}{v_{r1}}\right) \times (\text{[16]})$ より,

$$\left(\frac{2S}{v_{r1}}\right) \times (\text{[16]}) = \cos \left(\frac{\pi}{2} - \frac{\beta}{2}\right) = \sin \frac{\beta}{2} \doteq \frac{\beta}{2}$$

したがって,

$$\frac{FH}{FK} = \tan \beta \doteq \beta = 2 \times \left(\frac{2S}{v_{r1}}\right) \times (\text{[16]}) = \left(\frac{1}{v_{r1}}\right) \times 4S \times (\text{[16]})$$

II-A・B・C

解答

- | | | | | |
|--|--------------------------|--|--|--|
| ア 誘電 | イ 電場 | | | |
| 1 V | 2 $\epsilon_0 S$ | 3 1 | 4 ϵ_r | |
| 5 ϵ_r | 6 $\frac{V_0}{R}$ | 7 $R\omega_\delta C$ | 8 $\frac{1}{\omega_\delta C \tan \delta}$ | |
| 9 $\frac{V_0^2}{2} \omega_\delta C \tan \delta$ | 10 $\frac{1}{2r}$ | 11 $\frac{\omega_\delta C \tan \delta}{2} + \frac{1}{2r}$ | | |

解説

- 1** 電場が一樣であることから $V = E_0 d$ が成り立つので, $E_0 = \frac{1}{d} \times V$
- 2** $C_0 = \epsilon_0 \frac{S}{d} = \frac{1}{d} \times \epsilon_0 S$
- アイ** 誘電分極により電場が弱まる.
- 3** 極板間の電圧は V となるので電場の強さは E_0 となる. よって 1 倍
- 4** 元の電気量は $\epsilon_0 \frac{S}{d} V$, 変化後の電気量は $\epsilon_r \epsilon_0 \frac{S}{d} V$ なので, ϵ_r 倍
- 5** $\epsilon_r \epsilon_0 \frac{S}{d} = \frac{1}{d} \times \epsilon_0 S \times \epsilon_r$
- 6** 電気抵抗における電圧の振幅と $|\vec{I}_R|$, 抵抗値の関係より, $|\vec{I}_R| = \frac{V_0}{R}$
- 7** コンデンサーにおける電圧の振幅と $|\vec{I}_C|$, リアクタンスの関係より, $|\vec{I}_C| = \omega_\delta C V_0 = \frac{V_0}{R} \times R\omega_\delta C$
- 8** [6], [7] の結果と問の図 3 より $\tan \delta = \frac{V_0}{\omega_\delta C V_0} = \frac{1}{\omega_\delta C R}$ となるので, $R = \frac{1}{\omega_\delta C \tan \delta}$
- 9** $\bar{P} = \frac{V_0^2}{2R} = \frac{V_0^2}{2} \omega_\delta C \tan \delta$
- 10** $\bar{P}_r = \frac{V_0^2}{2r} = V_0^2 \times \frac{1}{2r}$
- 11** $\bar{P}_t = \frac{V_0^2}{2R} + \frac{V_0^2}{2r} = V_0^2 \times \left(\frac{\omega_\delta C \tan \delta}{2} + \frac{1}{2r} \right)$

講評

大問2問構成で、各大問が3問ずつに分かれているが、問題で扱われているテーマごとに整理し、以下の3つのテーマに分けて講評する。

I-AとI-B：粒子の散乱（標準）

I-C：万有引力（やや難）

II-A～C：コンデンサー・交流回路（標準）

I-A・B [力学：粒子の散乱]（標準）

I-Aの[1]～[7]はできれば完答してほしい。I-Bの[10]は、半径 R_1 の円周より外側に到達する粒子数を壁に衝突する全粒子数から引く必要があるため注意が必要である。

I-C [力学：万有引力]（やや難）

[11]～[13]および[17]は標準的で、それ以外の問題はかなり難易度が高く計算に時間がかかる。

II-A・B・C [電磁気：コンデンサー・交流回路]（標準）

前半II-Aはコンデンサーの知識の問題。[1]、[3]、[7]のように文章の流れ上やや埋めにくい空所があるが、語句も含めて完答したい。後半II-B・Cは、文章が長くやや設定が込み入っているように見えるが、コンデンサーと抵抗の並列交流回路であり、標準的な内容である。[9]～[11]については、交流回路で電力を消費するのは抵抗のみであることが分かっているれば解答できる。

総じて、難易度は2024年度推薦と同程度。昨年度につづき、2025年度も大問2問の形式。全て空所補充式。例年のようなグラフを描く問題は出題されなかった。空所の総数は31問で2024年度より2つ少ないがほぼ例年通り。I-Cの後半に時間をかけすぎると全ての問題に手をつけるのは厳しいだろう。計算に時間がかかる問題を上手く飛ばすことができたとしても、上限は8割程度だろう。目標得点率は55%。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>



医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校

☎03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

☎0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

大学別の攻略法を伝授 **オンラインでも受講できます**
(授業録画の視聴となります)

医学部攻略講座

1/7 近畿大学医学部

12/14 大阪医科薬科大学	12/28 福岡大学医学部
12/22 藤田医科大学	12/29 久留米大学医学部
12/26 川崎医科大学	1/5 兵庫医科大学
12/27 金沢医科大学	1/6 関西医科大学



詳しくはこちら

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分